

科目名 (科目番号)		法 学 (時間割参照)	教員名 横山 博子	学科等	学部共通	選択	履修年次	1
				曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
				授業形態	講義	オフィスアワー	前期火3・後期水3 B322研究室	
授業概要		本講義では、日本国憲法の位置づけと構造を押さえた上で、基本的人権を中心にその内容と解釈を学びます。そして、後半では簡単に民法にも触れます。講義では難解な解釈を極力控え、身近な事例や問題を題材にして、法とは何か、法の背後にはどのような社会理念があるかを考え、法から現代社会を考察します。						
目的・目標		目標は以下の4つである。 ①日本国憲法の基本構造と枠組みを理解する。 ②民法で扱う内容を説明できる。 ③条文の読み方を知る。 ④法解釈とその根拠を理解できる。						
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目		到達目標・学習内容				
	1	法律を勉強するとは		到達目標:法律の全体像と生活での役割を理解する。 学習内容:権利、義務、要件、効果、私法、公法の意味を学習する。				
	2	憲法①		到達目標:日本国憲法の成り立ちと位置づけを説明できる。 学習内容: 憲法の制定過程と構造を学習する。				
	3	憲法②		到達目標:精神的自由として保障される対象を説明できる。 学習内容:精神的自由(表現の自由)を学習する。				
	4	憲法③		到達目標:精神的自由として保障される対象を説明できる。 学習内容:精神的自由(信教の自由)を学習する。				
	5	憲法④		到達目標:経済的自由の内容と制約を説明できる。 学習内容:経済的自由(職業選択の自由、営業の自由)を学習する。				
	6	憲法⑤		到達目標:社会権とは何かを説明できる。 学習内容:生活保護法、労働基準法、労働組合法を学習する。				
	7	憲法⑥		到達目標:一票の格差問題、衆議院の優越、議院内閣制を説明できる。 学習内容:国会、内閣、選挙制度を学ぶ。				
	8	憲法⑦		到達目標:三審制、地方自治の本旨を説明できる。 学習内容:裁判所、地方自治について学ぶ				
	9	憲法⑧		到達目標:象徴天皇、憲法9条の政府解釈、改正の手続きを説明できる。 学習内容:天皇、平和主義、憲法改正を学ぶ。				
	10	民法①		到達目標:民法の扱う内容と夫婦と親子間の権利義務を理解する。 学習内容:婚姻の成立・効果、離婚の要件・手続き、親権、扶養義務を学ぶ。				
	11	民法②		到達目標:取り消し、無権代理、債務不履行に基づく損害賠償を説明できる。 学習内容:権利を侵害された場合の救済手段を学ぶ。				
	12	民法③		到達目標:連帯保証、物上保証の効果、破産の手続きを説明できる。 学習内容:信用が不足する場合の対応を学び、日常の落とし穴を知る。				
	13	民法④		到達目標:相続人、相続分、特別受益、遺言、遺留分を説明できる。 学習内容:相続の基礎とその手続きを学ぶ。				
	14	民事訴訟		到達目標:応訴義務、書証の重要性、上訴、差し押さえを説明できる。 学習内容:民事訴訟制度を学び、訴訟に巻き込まれた場合の注意点を知る。				
	15	刑事訴訟		到達目標:令状主義、逮捕勾留、黙秘権、接見交通、調書を説明できる。 学習内容:刑事訴訟制度を学び、事件に巻き込まれた場合の注意点を知る。				
成績評価の方法・基準		(対面・オンライン共通) 授業時の小テスト(50%) + 期末レポート(50%)						
教科書		一步先への憲法入門 (第3版)		片桐直人、井上武史、大林啓吾		有斐閣		
参考図書		適宜指示する。						
教員からのメッセージ		授業内での小レポートはコメントをつけて授業内で返却します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。						